

FANCT

旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”



vol.
121

平成27年3月発行

Contents

特集1	
卒業・修了おめでとう!	2
特集2	
国際交流のススメ	6
連載企画	
ANCTOPICS	11
僕たち・私たちの青春!ロボコンSPECIAL	12
ANCT VOICE	14
平成27年度行事予定	16



特集1 卒業・修了 おめでとう!

機械システム工学科

Q1 どんなクラスでしたか?

クラス全体の雰囲気としては、ザ・機械科という感じで、男ばかりの元気なクラスでした。ふざけて賑やかな時もあれば、体育祭や学校祭では一致団結?することもあり、楽しいクラスと感じました。



3年時
体育大会を
終えて

Q2 クラスで1番思い出に残っていることは?

体育祭を2年連続で優勝することができたことです。クラスのメンバーに運動神経が優れた人がいるとはいえ、まさか2年連続で勝つことができるとは思っていませんでした。



Q3 担任の先生・お世話になった先生へメッセージを!

機械システム工学科5年は元気がありすぎて、ご迷惑をおかけすることもあったと思います。そんな僕達に工学や社会で生きていく時に必要なことを教えていただき、諸先生方には感謝申し上げます。ありがとうございました。



俺たち
No.1!

回答: 星 尚弥

学級担任から

「卒業おめでとう」
少子高齢化、格差社会、財政赤字、地球温暖化…。およそ卒業というめでたい門出に相応しくありません。進学する学生にはまだ時間的猶予があるものの、この3月に卒業する皆さんは、遅かれ早かれ、このような難題を抱えた社会に出て行くことになります。また、皆さんは今後個人的にも多くの困難に直面するでしょう。その時、乗り越えるための解決方法はあるでしょうか? 残念ながら得策や妙案はありません。「あたりまえのこと」を「あたりまえに」やるしかないのです。何事にも「真摯な態度で」、「謙虚な姿勢で」、「諦めず粘り強く」取り組むこと。最後は「人事を尽くして天命を待つ」です。皆さん、卒業おめでとう。皆さんのご健勝とご活躍を心よりお祈りしております。



機械システム工学科
5年担任
石井 悟

制御情報工学科

Q1 どんなクラスでしたか?

みんなオトナなクラスでした! 学校行事や役員決めなどでの僕の強引な決定についてきてくれてありがとう。お世話になりました。笑顔溢れる素敵なクラスでずっと級長をすることができて、とても幸せでした!



見学旅行先にて
パシャッ!

Q2 クラスで1番思い出に残っていることは?

学校行事はもちろんですが、その後の打ち上げが特に僕の思い出です。クラスみんなで行事が終わった後にパーッと騒ぐのが大好きでした。



Q3 担任の先生・お世話になった先生へメッセージを!

担任の森川先生には就職をはじめ、普段の生活などたくさんのお話を、卒業研究では制御科教員や技術職員のみなさんに本当にお世話になりました。そして、僕の1・2年生のときの担任だった大好きなK先生は5年間僕の生活を見守ってくれましたね? すべての学校関係者に圧倒的感謝です!



光の中に
怪しい影が…。



回答: 猪上 岳人

学級担任から

卒業を迎えられた5Sの学生諸君、そして保護者の皆様へ、心からお祝い申し上げます。
混合学級から学科別学級になって3年の歳月が流れました。3年次の当初には、「新しいクラスで仲良く過ごしてくれるだろうか?」と心配しましたが、比較的早い段階から打ち解けて、卒業まで仲良く学生生活を過ごしてくれたと感じています。学級担任となった早い段階から、学生自らに「なりたいたい自分」の目標を設定して貰い、有意義な学生生活を過ごして欲しいと考えながら見守ってきたつもりです。卒業を迎えて自ら設定した「なりたいたい自分」には、なれたでしょうか? 4月からの新しい環境では、高専で得た知識や経験を礎として、それぞれの能力を発揮し、自分らしく輝ける人生を歩まれることを期待しています。



制御情報工学科
5年担任
森川 一

電気情報工学科

Q1 どんなクラスでしたか?

みんな仲良く、和気藹々としたクラスだったと思います。クラスで何かをするというときにみんな協力的でやりやすかったのが印象的です。



最後の体育大会

Q2 クラスで1番思い出に残っていることは?

体育祭ですね。3年のブービー賞から、4年生ではあと一歩優勝に届かなかった2位、結果を出せなかったけれどみんなの力で掴み取った2位。3年間を通してとてもいい思い出になりました。



Q3 担任の先生・お世話になった先生へメッセージを!

担任の小山先生には、沢山のお話を聞かせていただきました。卒業してそんな時間が無くなってしまうのは非常にサミシー!!ですが、新天地ではまた一からという気持ちで頑張ります!!ありがとうございました。



卒研発表にて



回答: 西村 康太郎

学級担任から

「新しい第一歩に向けて」
まずは、卒業する皆さんと保護者の皆様へ卒業のお祝いを申し上げます。担任を任せられたとき、学生との年齢差が大きくなり話を通じることが不安を感じるようになってきました。ただ、このクラスに関しては、素直で溶け込みやすいメンバーだったと思っています。
4月からは、就職や進学とそれぞれの道を歩んでいくことになります。進学する学生諸君は、より研鑽を積み進んだ意義を堂々と説明できるような取り組みを行って下さい。また、就職する皆さんは新しいスタートラインに立つこととなります。昨今は、学歴や年齢に関係なく評価される仕組みとなってきました。これまでの学校生活とは異なる勉強に取り組む、自己研鑽を求められる日々となって来ます。学業および仕事何れにおいても、これが自分の強みだと言えるものをお互いに築き上げていきましょう。皆さんのご活躍に期待しています。



電気情報工学科
5年担任
小山 貴夫

物質化学工学科

Q1 どんなクラスでしたか?

良くも悪くも個性の強い素敵な学生揃いのクラスで、周りから見るとまとまりもなく、担任にも何度心配と迷惑をかけたかわかりませんが、行事やレポートにはみんなで協力して立ち向かうクラスでした!



3年時の
我がクラス

Q2 クラスで1番思い出に残っていることは?

いろいろな行事も思い出といえば思い出なのですが、みんなで先生方のレポートや課題に夜遅くまで協力し取り組んだことや、卒業研究などといった日常生活もすごく心に残っています!



Q3 担任の先生・お世話になった先生へメッセージを!

堺井先生には初めての担任にもかかわらず、ご指導頂いたこと本当に感謝しております。先生のクラスの学生で本当に良かったです。また、他の物質化学工学科および一般科目の先生方にも熱心なご指導をいただきました。本当にありがとうございました。



回答: 佐藤 優樹

学級担任から

物質化学工学科5年の諸君、卒業おめでとう。皆さんの高専生活はいかがでしたか? 楽しいことばかりではなかったでしょうが、様々なことを感じ、考え、学んだ、人生にとってかけがえのない時間だったはず。本校で経験し、培った能力は、今後の皆さんを支える大きな財産となります。
「障子を開けてみよ、外は広いぞ」はトヨタグループの創始者、豊田佐吉のことばです。今まさに皆さんの新たな障子が開かれようとしています。その障子を選んだのも、開くのも皆さんです。会社や大学などから合格を頂いたときの喜びをもう一度思い出し、大きな志を持って、外に広がる新たな世界で全力を尽くして下さい。そして何より、心身共に健康で、充実した人生を送って頂きたいと心から願っています。



物質化学工学科
5年担任
堺井 亮介

体育大会を終えて

専攻科

Q1 専攻科はどんな所でしたか?

専攻科の授業は、本科の授業よりも一歩踏み込んだ内容で、それまで持っていた知識をさらに深めることができました。また、先生方に交ざって体育大会やソフトボール大会に参加するなど、学業だけではなく充実した日々を過ごすことができました。

Q2 専攻科で1番印象深かったことは?

昨年の11月に行われた、専攻科交流会が一番印象に残っています。専攻科交流会では、北海道に4校ある高専の専攻科生が一同に集まり研究発表を行いました。学会発表とは異なり、自分の専門とは異なる分野の研究に触れ、貴重な意見を交わすことができました。

Q3 お世話になった先生へメッセージを!

高専に入ったばかりの頃は、連日課せられるレポートやテストに苦しみ「こんな日々が将来何の役に立つのだ」と考えてばかりいました。しかし今思えば、そんな先生方の「ハードル」を乗り越えたという自信が、今の私の根本にあると考えています。7年間、本当にお世話になりました。

回答: 峯後 俊秀



種にんにく植付機の開発中(エンジニアリングデザイン)



専攻科長から

中学校卒業後の5または7年間は、「生きる力」を身に付ける意味で重要な時間です。その中で、皆さんが卒業や修了という一つの区切りに達したことに大きな喜びを感じます。この区切りの最後に、卒業研究や特別研究を体験したことが意味を持つと考えています。講義・演習・実習・学生実験などは、先人が答えを見出したことを真似てみることで知識を獲得します。一方、研究では誰も答えを出していないことにチャレンジします。努力したが答えが出なかった、適当にやったが一応の成果が出たなど、意外なてん末だったかもしれません。しかし、体験は奪われることがない財産です。その財産をどう生かすか?これが高専最後の宿題です。



専攻科長 富樫 巖

就職 本科:62名 専攻科:4名

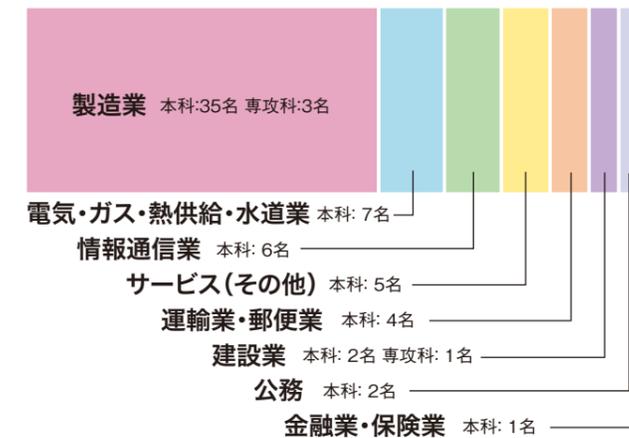
本科・専攻科就職先

企業名	本科				専攻科
	機械	電気	制御	化学	
旭化成(株)				1	
(株)アラタ工業					1
出光興産(株)				1	
AVCテクノロジー(株)					1
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー		2	1		
(株)NTTファシリティーズ		1			
(株)荏原製作所	1				
王子コンスターチ(株)	1	1			
オムロンフィールドエンジニアリング北海道(株)	1				
花王(株)				1	
キャンノンマーケティングジャパン(株)	1	1			
(独)国立印刷局	1		1		
小島プレス工業(株)	1				
コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)			1		
(株)コンピューター・ビジネス		1			
三建設備工業(株)	1				
GEヘルスケア・ジャパン		1			
JNC石油化学(株) 市原製造所				1	
JXエンジニアリング(株)		1			
ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株)			1		
大旺鋼球製造(株)北海道工場	1				
ダイキン工業(株)			1		
大日精化工業(株)				1	
中部電力(株)		1			
東海旅客鉄道(株)			1		
東芝エレベータ(株)	1				
東芝プラントシステム(株)		1			
東芝メディカル(株)		1			
東洋製罐(株)石岡工場	1				
東レ(株)				1	
日本オーチス・エレベータ(株)				1	
日本原燃(株)				1	
(株)日本触媒				1	
パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	1				
日立建機(株)土浦工場	1				
(株)日立製作所		1			
(株)日立パワーソリューションズ					1
(株)廣野組			1		
ファナック(株)	1				
富士石油(株)				1	

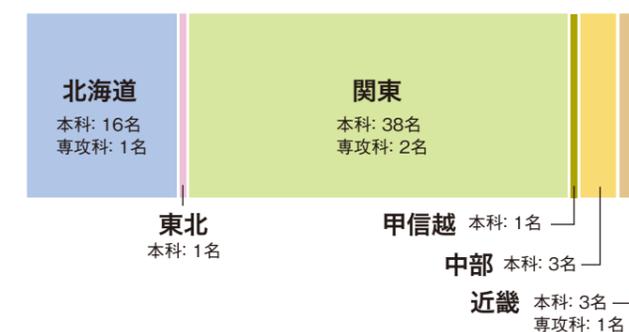
企業名	本科				専攻科
	機械	電気	制御	化学	
富士重工業(株)	1				
フジテック(株)	1				
(株)フルヤ金属				1	
ホクレンくみあい飼料(株)				1	
(株)北海道銀行		1			
(株)北海道畜産公社	1				
北海道電力(株)	1	4			
北海道旅客鉄道(株)	2		1		
(株)牧野フライス製作所			1		
水King(株)	1				
メタウォーター(株)			1		
雪印メグミルク(株)			1	1	
矢崎総業(株)			1		
(株)ユニシス				1	

※専攻科(応用化学専攻)は全員大学院進学のため就職なし

産業別就職先



地域別就職先



平成26年度 卒業生・修了生進路状況 (平成27年2月20日現在)

進学 本科:77名 専攻科:12名

*科名の略称について… 本科/機械(機械システム工学科)、電気(電気情報工学科)、制御(制御情報工学科)、化学(物質化学工学科)
 専攻科/生産(生産システム工学専攻)、応用(応用化学専攻)

本科進学先

学校名	機械	電気	制御	化学
本校専攻科	9	4	5	4
北海道大学		2	2	1
室蘭工業大学	2	1	1	
岩手大学		1		
東北大学			2	
宇都宮大学				1
金沢大学			1	
筑波大学		1	1	
千葉大学				1
東京農工大学			1	
静岡大学			1	
長岡技術科学大学	2	6		7
豊橋技術科学大学	5	2	2	4

学校名	機械	電気	制御	化学
信州大学			1	1
三重大学			1	
広島大学			1	
神戸大学		1		
首都大学東京				1
北海道医療大学				1
道立旭川高等看護学院				1

専攻科進学先

学校名	生産	応用
北海道大学大学院	5	6
長岡技術科学大学大学院		1

特集2 国際交流のススメ



本校では、教育の基本方針の一つとして、「国際的に活躍できる人材の育成」を掲げ、国際社会で活躍する技術者として必要な能力を養うため、様々な形で国際化を進めています。今回は、その取組みの一部を紹介し、学生のみならず、ぜひ海外へ目を向けてみてください。

ニュージーランド・イースタン工科大学語学研修



本校では、夏期休業中、ニュージーランド・ネーピア市のイースタン工科大学(EIT)において、本科3~5年生の希望者を対象とした語学研修を実施しています。これは、道内4高専とEITとの学術交流協定に基づく連携事業として実施しているもので、今年度は7月25日(金)~8月10日(日)の日程で、6名の学生が参加しました。今回は、この研修のポイントや参加した学生の感想を紹介し、



電気情報工学科4年 岡田 崇太

ホームステイや外国の大学など、初めてのことはかなり不安だらけでしたが、ホストファミリーをはじめ、みんな優しく面白いばかりでした。学校の授業は、英語でゲームなどを行い、楽しく英語に触れることが出来ました。他にも、英語だけでなく、たくさんものを得ることができ、とても楽しい毎日でした。学生のうちにしか出来ない良い経験が出来たと思います。

POINT 1 充実した語学研修と学校生活

授業では、リーディング、ライティング、リスニング、会話等の授業を行います。先生はもちろん現地の方なので、授業は全て英語で行います。他の国からの留学生がいる場合もあり、色々な国の人とコミュニケーションを取ることができます。授業以外でも、歓迎セレモニーやキャンパスツアー、お別れのアフタヌーンティー等の行事があり、充実した学校生活が送れます。



POINT 2 研修期間中はずっとホームステイ!

約2週間の研修期間中は、現地の家庭にホームステイします。ホストファミリーはもちろん、他の国からの留学生がいる場合があり、日常生活でも英語に親しむことができ、現地の生活を体験できます。休みの日は、ホストファミリーと出掛けたりパーティーをしたりと、それぞれ沢山の思い出ができました。



ホストファミリーと

ホームステイ先では、子供たちと遊んだり、ホストマザーやホストファザーと話しをしたりなどして、とても楽しく過ごすことができました。大学では、先生方が丁寧に英語を教えてくれたため、授業が苦になることがなく、ほっとしました。2週間の語学研修のため、英語能力はあまり向上しませんでした。多くの貴重な経験ができ、本研修に参加できて良かったと思っています。



システム制御情報工学科4年 坂本 啓心

POINT 3 地元中学校での出前授業



この研修の課題の一つとして、毎年、地元中学校(小学校の場合もあります)へ出向いて科学実験を行っています。実験内容は、参加する学生が自ら考え、段取りや実験手順はもちろん、それをどのように英語で説明するか、研修へ出発する前に時間をかけて取り組みます。今年度は「芳香剤作り」と「ペーパーブリッジの製作」を行いました。事前準備の時間も、当日は大成功でした。

出前授業にて



機械システム工学科4年 富山 航

留学に行ってみて日本の家庭との違いを感じたのは、夜になるといつも違う人たちが泊まりにきて、朝、一緒に朝食をとるのです。とても奇妙です。ホストファミリーとは劇やパーティーなど思い出つきません。この留学を通して英語力が上がったとは思いませんが、なぜ英語を学ぶのかわかったような気がします。それは感謝の言葉を伝えたり、友達を作るためだと思いました。今思い出しても、とても学ぶことの多い2週間でした。



物質化学工学科4年 石丸 裕也

ニュージーランドは、英語の訛がとてとひどく、ホストファミリーとのコミュニケーションが取りづらかったです。しかしながら、ニュージーランドは治安が良く、人が親切なので、様々な方が、私たちがわかるようにゆっくりと話してくれました。さらに、4年生の夏休みは、企業実習も行われます。私は、2週間弱でNZへ、2週間大学へ行ってきました。企業実習もNZも行くことができるので、ぜひ行くことをお勧めします。

NZ語学研修に参加できて本当によかったです!昔から行ってみたい日本以外の国、日本語でコミュニケーションの取れない環境——研修期間はこの一生で二度と味わえないものとなりました。ホストファミリーや大学のツアーでも様々なところに連れて行ってもらい、多くの思い出ができました。また機会があればNZに行って、ホストファミリーに会ってたくさんのおみやげを渡したいです。



物質化学工学科4年 佐藤 茜

POINT 4 勉強だけじゃない! ホークスベイ近郊 ツアーや施設見学

もちろんメインは語学研修ですが、イースタン工科大学のあるホークスベイ地方のツアーや広大なファーム見学、博物館、クラシックシープスキニング工場やARATAKIハニー(はちみつブランド)への施設見学など、勉強以外のプログラムも盛りだくさんです。



トラクターで農場内見学



システム制御情報工学科4年 能藤 信之介

NZ語学研修は本当に楽しかったです。ほとんど毎日、ツアーやそれぞれのホームステイ先でのイベント・ホームパーティーなどがあり、2週間があっという間に過ぎてしまいました。大学での英語の授業では日本以外からの留学生と交流できる場面があり、良い経験になりました。また、放課後や休日は友達と一緒に町の人とサッカーをして過ごしていました。短い期間ですが留学はいい経験になると思うので、是非皆さんも行ってみてください。





水原ハイテク高校 交流事業

この交流事業は、水原ハイテク高等学校と本校が学術交流協定を締結したことにより始まったもので、学生の相互派遣を行っています。今年度は、7月11日(金)～18日(金)の日程で、同校の生徒8名を受け入れ、本校学生宅でのホームステイをはじめ、学生寮での宿泊、市内見学、授業参加等を行い、本校学生との交流を深めました。そして、8月22日(金)～29日(金)の日程で、本校学生7名が韓国へ派遣されました。ホームステイや授業参加など、様々な体験をしてきた学生達に、交流事業の思い出を語ってもらいました。

交流事業参加者



機械システム工学科1年
新田 大晃



電気情報工学科2年
近藤 利樹



電気情報工学科2年
佐藤 翼



電気情報工学科2年
千葉 一樹



機械システム工学科3年
古平 雛子



システム制御情報工学科3年
内藤 加奈



物質化学工学科3年
岩崎 豪

聞き手:平野先生(以下 平野) まず、交流事業に参加した理由を教えてください。

新田 僕は、入学する前に送られてきた交流事業の案内を見て参加しようと思ってました。

千葉 将来的にもっと本格的な留学を考えているんですけど、今回親が興味あるなら行ってみれば?とってくれたこともあって参加を決めました。

近藤 昨年の交流事業で、韓国から来た留学生と寮で関わってるうちに興味を持ちました。

佐藤 僕も、昨年の交流事業で寮でのお世話係になって、留学生と仲良くなったのと、将来的に留学したいと思っているので、まず近場へと思って。

内藤 私は1・2年生の時に交流事業の報告会を見て行きたいと思いました。家族も向こうからのホームステイ受け入れをOKしてくれたので参加できました。

古平 私は中学3年生の時に兄がこの交流事業に参加していて、楽しかったという話を聞いていいなと思ったのと、2年生の冬に、前に交流事業で韓国から来ていたボンダンさんが遊びに来てすごく仲良くなって、次は自分が韓国に行こうと思いました。

平野 みんな突然決めたいというよりも、色々なきっかけや将来留学したいという気持ちで参加したんだね。次に、実際韓国へ行って、最初はパートナーの家でホームステイをしたと思うけれど、その時の感想や日本と違うと感じた事があれば教えてください。

新田 ホームステイ先の家族は日本と同じような感じで、特に不便等はありませんでした。

平野 韓国はトイレに紙を流せないとかよく聞くけど、そういう面ではどうだった?

内藤 そもそもトイレに紙が無かったです!寮とか学校にあるトイレには紙がありませんでした。

古平 学校にあるトイレには紙が置いてなくて全部持参でした。お店のトイレも個室に入る前に紙を取ってから行かなきゃいけなくて。

内藤 お店には全然紙無かったよね。

千葉 ホームステイ先は日本とそんなに変わらなかったけれど、連れて行ってもらった温泉が日本と違ってびっくりしました。サウナとお風呂が別のところにあったり、サウナがとにかく大きかったり。あと、料理はやっぱり辛かったです。

平野 キムチとか?

千葉 キムチは辛いというよりも酸っぱかったです。漬け物みたいな感じで。トッポギとかが辛かったです。

平野 辛いものでお腹がおかしくなったりしなかった?

千葉 豪君(※1)がなりました(笑)あと、街中にゴミが沢山あってびっくりしました。ソウルとかに行くとか、店の横や路地裏にゴミが積んであって、日本は綺麗だっていうのを実感しました。

近藤 ホストファミリーはとてもよくしてくれました。日本と違う事で印象的だったのは、家に着いてまず果物を食べさせてもらったんですけど、初めて見る果物で、味はリンゴっぽいんですけどリンゴじゃなくて、食物系は、初めて食べるものが結構ありました。

佐藤 ホームステイ先は日本とそんなに変わらなかったんですけど、そのマンションの入り口に「LG」って書いてあって、こういう企業がマンションを造っている事とか、ペランダが外に出っ張っているんじゃないかと、家の中に付いてた事にびっくりしました。

内藤 事前に行きたいところや食べたいものとかを聞いてくれて、その希望をホームステイ期間中に全部叶えてくれました。急なお願いでもちゃんと次の日予定に組んでくれて、家もすごく綺麗で、これはこう使うんだよって説明もしてくれて、不自由なく過ごさせてもらいました。

古平 韓国の子がうちでホームステイしてた時は、朝早くから色々な所に連れて行って、結構ハードスケジュールだったんですけど、向こうではゆったり過ごさせてもらって、知らない場所だけど地方の親戚の家にいるみたいな感覚ですごく楽しかったです。びっくりしたことは、お風呂がユニットバスなのにシャワーカーテンが無かった事。気をつけないとトイレの方に水が流れてっちゃって大変でした。(ここから暫く、うちもシャワーカーテンが無かった、うちはあったとシャワー談義に。)

平野 基本は湯船にお湯を入れなくてシャワーなの?

この交流事業は、水原ハイテク高等学校と本校が学術交流協定を締結したことにより始まったもので、学生の相互派遣を行っています。今年度は、7月11日(金)～18日(金)の日程で、同校の生徒8名を受け入れ、本校学生宅でのホームステイをはじめ、学生寮での宿泊、市内見学、授業参加等を行い、本校学生との交流を深めました。そして、8月22日(金)～29日(金)の日程で、本校学生7名が韓国へ派遣されました。ホームステイや授業参加など、様々な体験をしてきた学生達に、交流事業の思い出を語ってもらいました。

主な派遣プログラム

1日目 ウェルカムパーティー

2・3日目 ホームステイ

4日目 対面式
企業見学
市内見学(水原華城、龍仁植物園)
韓国伝統楽器体験

5日目 韓国語特別授業
企業見学
ソウル観光

6日目 韓国語特別授業
授業参加(英語、体育、音楽)
サークル活動体験
プレゼンテーション

7日目 韓国語特別授業
韓国伝統文化体験
授業参加(専門科目)
お別れパーティー



韓国語授業



ホストファミリーと



華城でJUMP!



華城でJUMP!



韓国の文化体験



伝統工芸制作!



水原市庁を訪問



プレゼンテーション



焼き肉屋にて



寮内交流



別れの日

古平 そうです。トイレの方に流れないように注意してシャワーを浴びました。

内藤 私は座りながらしました。みんなやっぱり気をつけてたんだね。壁側に向かってやったり(笑)

一同 そうそう(笑)

平野 トイレの床面とシャワーの床面がフラットなの?

古平 そうです。寮に関して言えば、トイレにシャワーがついてるだけで感じてた。他の生徒の部屋は違うんですけど、私たちの部屋は特別な部屋だったみたいで。

平野 ハイテク高校での授業はどうだった?みんなだけの授業だったの?

千葉 自分たちだけの授業は韓国語だけで、それ以外授業は他のクラスに混ざって受けました。

平野 授業を受けてみて、うちの学校とハイテク高校で大きな違いはあった?

千葉 罰則です!あと遅刻の厳しさとか(笑)朝の集合時間を間違えて伝えられて、自分とヒロ(新田君)が2～3分遅刻しちゃったんですけど、それでめちゃくちゃ怒られて、2人だけスクワットさせられました。

平野 ええー!弁解は聞いてくれないの?

千葉 その先生韓国語しか通じなかったんです。

内藤 どんな理由があっても時間には厳しかったよね。

古平 あと、校長先生に対する態度が私たちとは全然違ったよね。みんな大きな声で「気をつけ!こんにちは!」って。ヘー。なんか軍隊みたいだね。

古平 そんな感じですか。

内藤 上下関係が厳しい感じでした。

佐藤 豪君が寮でお土産のラーメン配ってたら怒られたけど、説明したら日本から持ってきたお土産だって分かってもらえた事もあったね。

新田 俺もじゃがりこ配ったら怒られた(笑)

内藤 寮にお菓子やカップ麺を持ち込むのダメだったんですよ。

古平 でも持ち込んで食べてましたけど(笑)先生来たときはめっちゃ焦ったけど、「これお土産です!」って言って(笑)

平野 そういう話って全然知らなかったよね。

佐藤 行ってから分かったことが結構ありました。スリッパ持って行った方がいいとか。寮は土足厳禁で、みんなクロッソとかスリッパ履いて過ごしているのが必需品です。

内藤 パスポートの次に必需品(笑)

古平 洗濯ネットと洗剤も必要だったよね。洗濯機の台数があまりなくて、基本部屋毎にまとめて洗うんです。向こうの人が全部貸してくれました。

近藤 あと、点呼来る前にまず部屋を掃除して、部屋の前で待ってなきゃいけないとか。

千葉 夜部屋でケータイ使うの禁止とか。

内藤 寮は基本厳しかったですね。

平野 結構ルールは厳しく守らなきゃいけなかったんだね。今まで向こうからそういう説明とか無かったんだけど、実際は色々あるんだね。来年度以降の参考にさせていただきます。

古平 寮生活は1番長いので、そういうの結構大事だと思いました。

平野 さっき志望動機を聞いたとき、元々留学したいって希望の人が多かったみたいだけど、今回韓国へ行ったことで、留学に対してどんな思いになった?

新田 もっと積極的にやっていきたいという思いが増えました。

内藤 他の国にも行ってみたい気持ちになったし、日本から出ることによって色々学べる事があるんだな、と感じました。

古平 私は、4年生になったらニュージーランドの留学も行ってみたいです。

平野 じゃあ今回の交流事業で嫌な思いはしなかったんだ。

新田 嫌な思いは全然なくて、楽しかったです。

平野 今、日韓って政治面ではギクシャクしている事もあるから、行く前に心配は無かったのかな?実際行ってみてどうだった?

古平 全然怖くなかったよね。

千葉 普通の人たちは親しみやすかった。

内藤 学校の人たちみんな日本大好きって人ばかりでした。学校全体で受け入れてくれる雰囲気、みんな挨拶してくれたし。

平野 他の人たちに韓国はすごくよかったよって勧められる?

一同 はい。

平野 実は、私も韓国に行ったことがあって、みんなと全く同じ感想を持ったんだよね。

内藤 向こうに日本の商品が結構売っていて、大きなスーパーで大抵のものは買えるし、そういう面で心配がある人も大丈夫だと思います。

平野 税関での受け答えとかは大丈夫だった?

内藤 思った以上に簡単でした。18歳以上は指紋認証があるんですけど、ピッてるだけだし、18歳未満なら何もなくてよかったです。

平野 それでは、最後に来年度参加を考えている学生へメッセージをお願いします。

古平 すごく楽しかったです。ホームステイの期間は色々なところに連れて行ってもらえたり、色々な経験ができました。割と自由に過ごせました。

内藤 来年行くメンバーも直前合宿やった方がいいですよ。合宿すごく大事!それで今回のメンバーみんな仲良くなったので。

千葉 言葉は全然心配なくても大丈夫。でも韓国語ちょっと覚えてたら面白いかも。

平野 今日は色々聞かせてくれてありがとう。みんなの話を参考に、これからもこの交流事業をよりよいものにしていけたらと思います。

ISTS2014

ISTSは、高専機構が海外の包括交流協定校と共催し、「持続可能な社会構築への貢献のための科学技術」をテーマに、国際的な雰囲気の中で高専学生に英語による研究成果を発表する機会を提供し、英語コミュニケーション能力の向上と国際感覚の涵養に貢献することを目的に実施している学生主体の国際シンポジウムです。今年度は本校から2名の専攻科生が参加しました。



台北にて

初めての国際シンポジウム、初めての英語発表、初めての台湾など初めてつくりましたがとても有意義な時間でした。英語は重要だと学校で散々言われますが、国際会議では英語が標準語であり、英語ができるとさらに活動の幅が広がるのだと実感しました。台湾の友達ができたり、世界の研究レベルを知ることができたりと、これからの研究や勉強への良いモチベーションになる経験でした。

生産システム工学専攻2年
小野里 尚記



生産システム工学専攻2年
矢萩 幹人



研究発表のため台湾に行ってきました。発表会場で聞こえてくるのは、日本語でもなく台湾語でもなく英語。質疑応答や交流での会話において意思疎通にかかる時間もどかしく、言語の大切さが身に沁み渡りました。しかし、同時に意思の伝達を図るために少しでも良い方法を考えながら交流することは、非常に楽しく実り多いものでした。価値観が少し広がると思っていますので、機会のある方は恐れずに挑戦して欲しいと思います。



教職員からの国際交流のススメ

本校には、海外での経験豊富な教職員が多く在籍しています。今回はそのうちの2名に、海外での経験や海外へ行くことの勧めについて話してもらいました。

物質化学工学科 准教授
千葉 誠

(平成25年4月～平成26年3月
在外研究員としてベルギーに滞在)

私は昨年度、ベルギーのブリュッセル自由大学にて1年間の留学をさせていただきました。ベルギーは、石油化学工業、繊維業、造船業などを中心に大変発達しており、その首都ブリュッセルはEUの本部をはじめ、様々な国際機関の主要施設が設置されているヨーロッパの政治・経済・工業の中心都市のひとつです。さらに、ヨーロッパ各国の主要都市を結ぶ交通の要所としての側面もあり、ロンドンやパリなどヨーロッパ主要都市へのアクセスも抜群で、気軽に列車でいろいろな文化や芸術に触れることができる環境でした。もちろん、研究に関しても世界トップレベルの研究者たちに囲まれ、毎日、刺激的で充実した研究生活をおくることができました。学生の皆さん、海外へ羽ばたいてみてはいかがでしょうか？きっと新しい世界が広がると思っていますよ。



技術創造部基盤技術グループ 技術職員
小林 一誠

(平成24年1月～平成26年1月
青年海外協力隊としてヨルダンに滞在)

FANCTをご覧の皆さん、こんにちは。技術創造部の小林一誠です。私は中東のヨルダンで2年間、青年海外協力隊として工作機械の技術指導をしてきました。TOEIC400点の私が長期海外生活を行い、更にはアラビア語という未知の言語を現地業務で使用することに高い壁を感じた事を思い出します。現地人や諸外国から来た人達と、お互いの語学や文化等を知り、新たな視点が増え、毎日充実した2年間でした。日本文化に対する外国人のファンが多く、世界から見て日本は注目されている国だと実感しました。海外に出る事だけが良い訳ではありませんが、皆さんには一度は海外に行くか、海外の友人を作る等して、自分自身を成長させるヒントを掴んで欲しいと思います。



ANCTOPICS

地域開放特別事業(冬期)「冬休みの一日を旭川高専で楽しもう!」を開催しました。



1月9日(金)に、本校において、地域開放特別事業(冬期)「冬休みの一日を旭川高専で楽しもう!」を開催しました。この事業は、地元の小・中学生に科学・工学に関する体験イベントや製作・実験等を通して、ものづくりや理工系教科への関心を深めてもらうために開催しているもので、市内及び近郊の小・中学校から、保護者も含めて約140名が参加しました。午前中は、高専ロボコン大会に出場したロボットの操作体験や、オリジナルのコマを自作し対戦する「工作教室～コマ対戦旭川場所～」の体験を、午後からは4コースに分かれ、「サイクロン式掃除機」、「DSPラジオ」、「光センサーで奏でる電子楽器」及び「スタンプ・キャンドル・カイロ」の製作を行い、参加した小・中学生は、教員や高専学生のサポートを受けながらハンダ付けなど難しい作業にも挑戦していました。

「2014 AWBC 合同成果発表会」で、本校学生が賞を受賞しました。



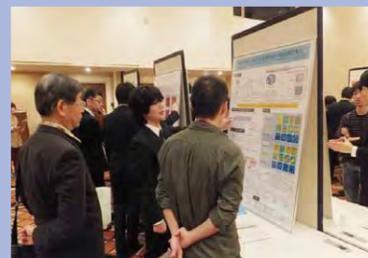
1月25日(日)、フィール旭川2階のジュンク堂ギャラリーにおいて、AWBC(旭川ウェルビーイング・コンソーシアム)合同成果発表会が開催され、本校から4名の学生が参加しました。今年度で6回目となるこの発表会は、旭川市内の6つの高等教育機関による大学連携組織「旭川ウェルビーイング・コンソーシアム」の主催で、連携校の学生がそれぞれの専門領域において、社会デザイン能力を身に付け、地域社会に貢献できる人材となるために行ったこの1年間の活動成果をポスターにまとめて発表・報告を行うもので、各校から合計17の個人・グループが、教職員や学生約100名の前で順に発表しました。発表後に審査が行われ、応用化学専攻2年の秋永 祐陸さんが最高賞のAWBC賞を受賞しました。また、生産システム工学専攻2年の村椿 信さん及び電気情報工学科4年の林 広尚さん(AWBCの学生自主組織「はしっくす」として出場)も優秀賞を受賞しました。

発明研究会、第17回「エネルギー利用」技術作品コンテスト入賞及び6年連続のデザインコンテスト・デザインパテントコンテスト入賞。



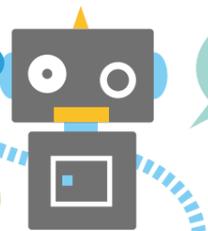
第17回「エネルギー利用」技術作品コンテスト(主催:日本産業技術教育学会)において、本校発明研究会に所属する物質化学工学科1年の高田 卓平君が、中小企業庁長官賞を受賞しました。また、平成26年度パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト(主催:文部科学省、特許庁、日本弁理士会、(独)工業所有権情報・研修館)において、機械システム工学科5年の金山 弥旦さん及びシステム制御情報工学科3年の谷 和麻さんが特許出願の支援対象に、電気情報工学科5年の小山内 達哉さん及び機械システム工学科4年の西内 廉さんが意匠出願の支援対象に選出され表彰されました。これで、発明研究会のメンバーは、平成21年度から6年連続で、同コンテストにおいて支援対象に選ばれたこととなります。なお、一度に4件も支援対象に選出されたことは、全国の他高専でも例がない快挙です。今後は、主催者側の全面的な支援を受けて、権利獲得を目指し、それぞれ特許出願と意匠出願を行います。今後も、発明研究会のメンバーの活躍を期待したいと思います。

専攻科特別研究発表会を開催しました。



2月10日(火)に、ロワジュールホテル旭川において、「専攻科特別研究発表会」を開催しました。この発表会は、専攻科2年生が、2年間の研究の集大成として、市内の企業担当者をはじめ、一般市民に広く専攻科及び学生の研究内容を紹介するとともに、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の向上を図ることを目的として、毎年実施しています。当日は、市内の企業関係者、保護者、本科学生、教職員など76名の参加があり、ポスターセッションによる熱心な説明と、研究成果の展示等により、非常に活気のある発表会となりました。なお、当日はケーブルテレビ「ポテト」の取材を受け、後日放送されました。

僕たち ・私たちの青春!



ロボコン
SPECIAL

本校には30のクラブ・同好会があり、日夜練習や活動に励んでいます。今回は、「ロボコン」でおなじみのロボット・ラボラトリを特集します。

アイデア対決・全国高専 ロボットコンテスト2014

競技課題 「出前迅速(でまえじんそく)」

今大会の競技はロボットによる「出前」でした。出前ロボットは、お盆に高く積み上げられた蕎麦の蒸籠(せいり)を3つの障害物(スラローム・角材・傾斜)を乗り越えて運びます。トーナメント方式で2チームが対戦し、競技時間3分間で少しでも多くの蒸籠を出前したチームの勝利です。



2014年旭川高専マシン紹介



Aチーム 「ベルーガ」

Aチーム「ベルーガ」は一度に運ぶ枚数を増やすより、蒸籠を運ぶ回数を増やして勝ちにいくマシンです。3回の出前も可能で、練習では計38枚を運ぶ事が出来ました。受け取りロボットはヤドカリを模しており、4秒足らずで受け取り動作を終了します。

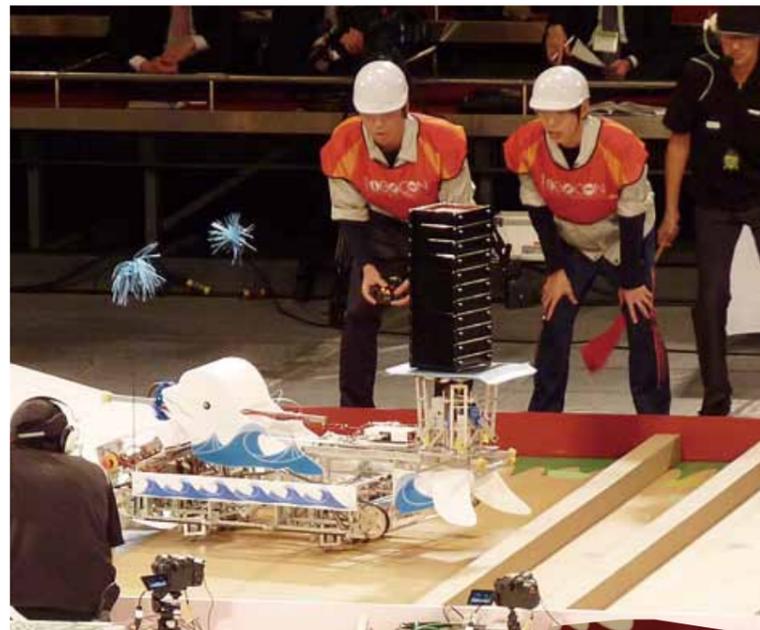
Bチーム 「蒸籠(せいりん)」

Bチームが製作したロボットの蒸籠は、タイヤ全体を1回転させる必殺技「セイロンドライブ」とクローラーによって5つ並んだ障害物の角材に対し、速度を落とさず進むことができます。地区大会では素早いスピードで最速記録を出し、準優勝の結果を残しました。



北海道地区大会

10月12日(日)、「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014」北海道地区大会が本校第1体育館で開催され、4高専8チームが全国大会出場をかけて熱戦を繰り広げました。試合は勝ち抜きトーナメント方式で行われ、決勝は3年連続9回目の旭川高専対決となりました。激戦の末、残り2秒で5年生主体の旭川高専Aチーム「ベルーガ」が、4年生主体の旭川高専Bチーム「蒸籠(せいりん)」を振り切り優勝を果たしました。また、旭川高専Aチームは、ライブストリーミングを見た全国の視聴者の投票によって選ばれる「出前迅速賞」にも選ばれました。



全国大会

北海道地区大会を見事優勝した旭川高専Aチームは、11月23日(日)、両国国技館で開催された全国大会に出場しました。トーナメント方式のため、シード校だった本校は2回戦から登場となりました。ロボットが本調子ではない状態でしたが、鈴鹿高専に苦戦の末勝利し、その後も調整を重ねながらの戦いとなりましたが、準々決勝の岐阜高専戦、準決勝の福島高専戦を勝利し、11年振りとなる決勝へ進出しました。決勝では、惜しくも熊本高専(八代キャンパス)に敗れましたが、全国大会準優勝というすばらしい成績を収めました。

全国大会 準優勝!



大会を振り返って



機械システム工学科4年
森田 慧

私はBチームの操縦者として大会に出場しました。小さい頃から憧れていたロボコンの大会に、選手として参加することができ、ロボットを操縦している時はとても感動しました。今回の大会はここ数年で一番難しい課題と言われており、Bチームも大会寸前までロボットが完成せず苦戦しました。なんとか完成はしたものの地区大会の決勝戦で先輩方のAチームに負けてしまい、地区準優勝という結果でした。悔しい結果にはなりましたが、全国大会に向けて先輩方のサポートに全力を注ぎ、先輩方は全国準優勝という素晴らしい成績を残しました。国技館で全国大会の決勝を見て、次は自分たちがこの場に立って優勝したいと思います。来年は最後の年なので、悔いの残らないように安定した強いロボットを作り、3度目の全国優勝を狙いたいと思います。

高専ロボコン
2014
- 11年ぶりの
全国決勝進出 -



ロボットラボラトリ顧問
三井 聡

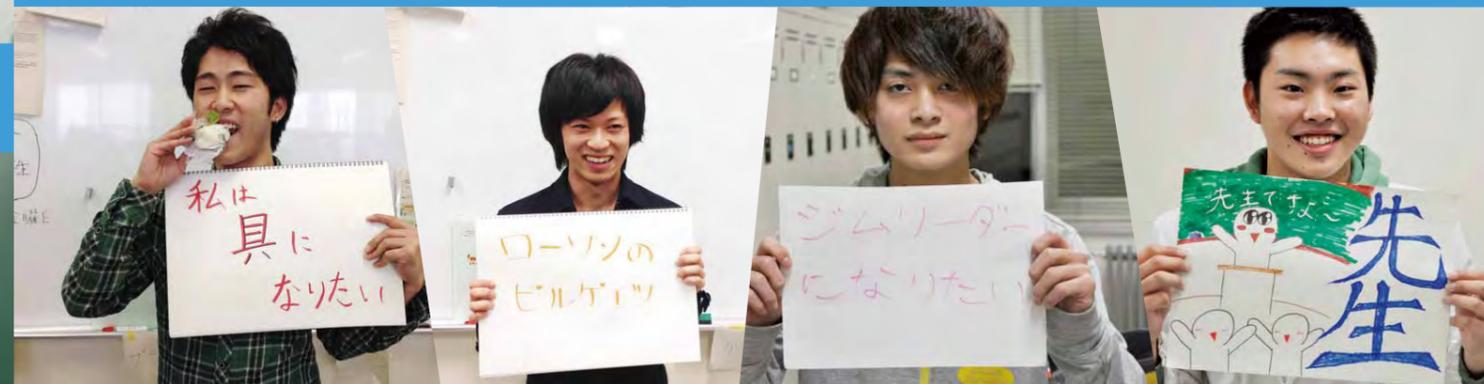
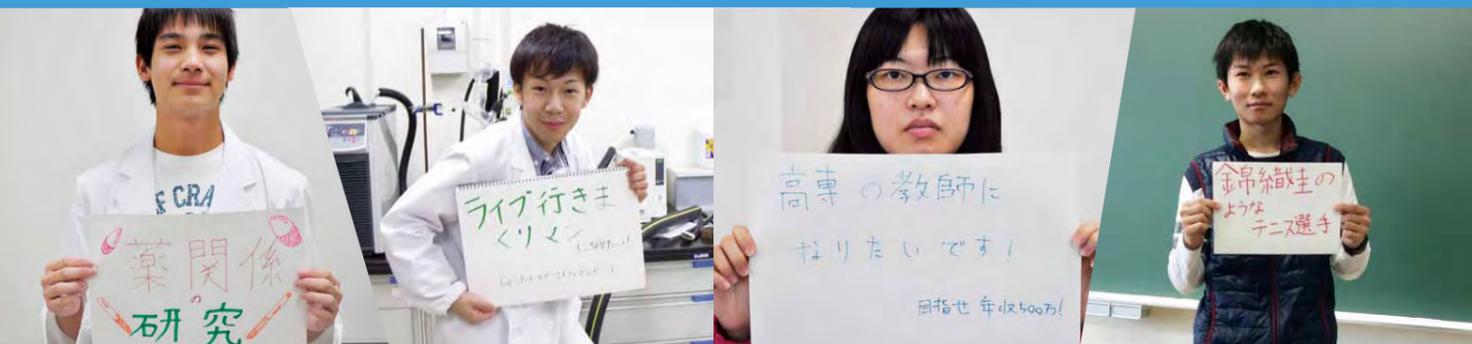
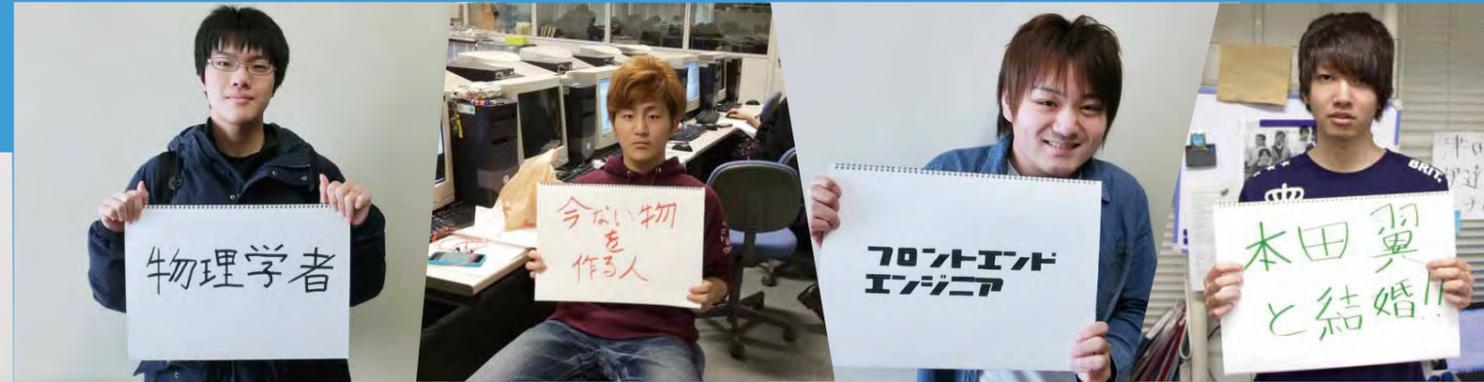
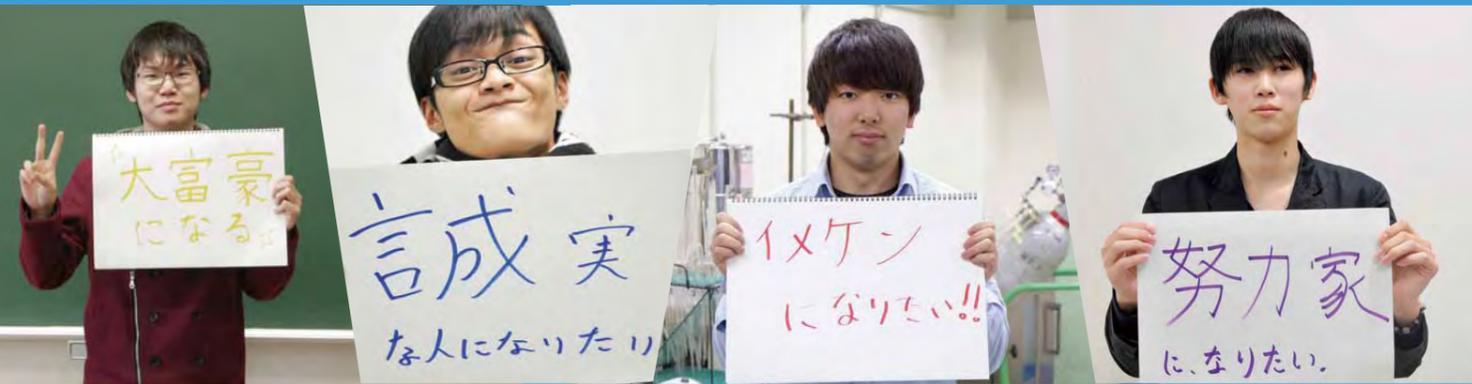
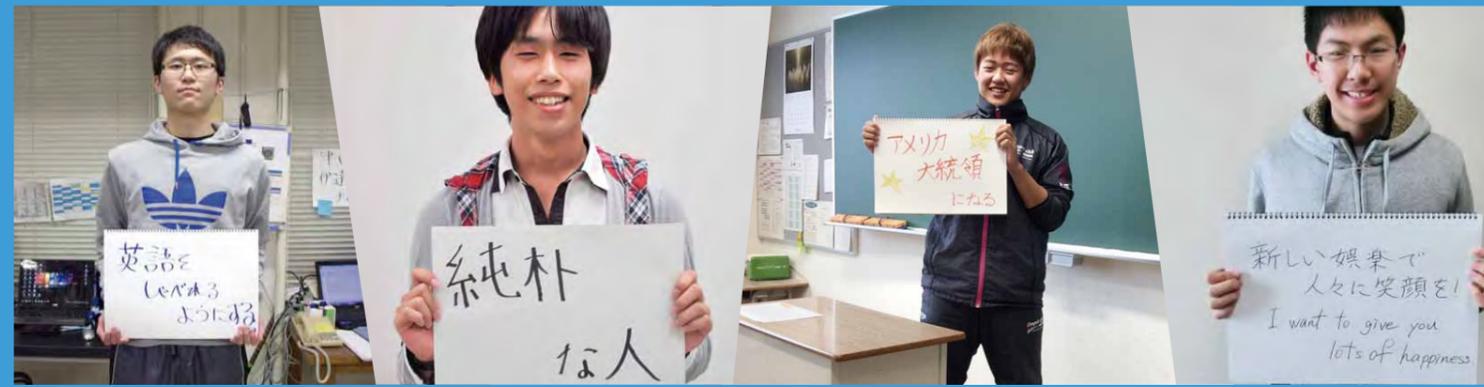
3年連続9回目の地区大会完全制覇(優勝、準優勝)と地元開催という半端ないプレッシャーの中で地区大会に挑みました。5年生主体のAチームが4年生主体のBチームに僅差で勝利し、地区大会完全制覇できました。まずはひと安心。Aチームが出場した全国大会では、苦戦しつつも2003年の全国優勝以来11年ぶりの決勝進出を果たし、負けはしましたが、「準優勝」という素晴らしい結果を得ることができました。部員、顧問の苦労が報われた瞬間でもありました。次は3度目の優勝、そんなに甘くないか。優勝マシンは偉大なと思う今日この頃です。ロボコンOB、同窓会、教職員、選手親族など多くの方々からのご支援、ご声援に対しまして、この場を借りてお礼と感謝を申し上げます。

ANCT VOICE

— アンクト ボイス —

テーマ: **NO.5**
 なりたい自分
 ~理想の自分を大発表!

誰にだって理想の人物像があると思います。
 外見のことや内面のこと、将来こんな人になりたいな、
 という理想から芸能人や偉人、まわりの素敵な大人な
 ど、憧れの人がいる場合もありますよね。
 今回はみなさんに、なりたい自分・理想の自分を教えて
 もらいました。
 みなさん、理想の自分になるために目標に向かって頑
 張ってくださいね!



回答してくれたみなさん、ありがとうございました!

平成27年度 行事予定 (4月～6月)

4月1日(水)～3日(金)	春期休業
5日(日)	入学式
6日(月)	始業式・対面式(本科)、1年オリエンテーション(本科・専攻科)、授業開始(専攻科)
7日(火)	授業開始(本科)
9日(木)	TOEIC説明会(本科4年)
10日(金)	健康診断
16日(木)	TOEIC IPテスト
16日(木)～17日(金)	新入生合宿研修(本科1年)
21日(火)	開校記念日(授業日)
23日(木)	学生総会(7時限目)(本科)
5月1日(金)	授業参観日(本科)
7日(木)	交通安全講習会(7時限目)(本科1～3年)
11日(月)～14日(木)	平成28年度専攻科入学者選抜(推薦選抜)出願期間
14日(木)～15日(金)	校内体育大会(本科)
20日(水)	TOEIC IPテスト(専攻科)
21日(木)	交通安全講習会(7時限目)(本科4・5年)、TOEIC IPテスト(本科)
23日(土)	平成28年度専攻科入学者選抜(推薦選抜)試験日
28日(木)	インターネットトラブル防止講演会(7時限目)(本科)
6月1日(月)～4日(木)	平成28年度専攻科入学者選抜(前期学力選抜)出願期間
1日(月)～12日(金)	前期中間試験期間(本科)
13日(土)	平成28年度専攻科入学者選抜(前期学力選抜)試験日
25日(木)	進路に関する講演会(7・8時限目)(本科4年・専攻科1年)
25日(木)～26日(金)	宿泊研修(本科2年)

編集後記

今号は本年度の最後の「学校だより」です。5年生にとっては最後に手にする「学校だより」となります。卒業生諸君には多くの思い出がある5年間だったと思います。卒業後のさらなる飛躍を期待します。

一方、今号では「国際交流のススメ」が企画されており、本校の教職員ならびに学生の海外での活躍を垣間見ることができます。私もこれまでバルセロナ、リスボン、イスタンブールへ国際学会で発表するために渡航しました。海外に出向き異文化と接すると大きな刺激を受け、仕事に対するモチベーションが向上します。学生諸君！チャンスがあれば渡航してみてください。

広報委員会学校だより編集部会 阿部 晶

FANCT vol.121

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」を付けて「Fun」（楽しい、愉快な）の音をつけました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しい学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8103(総務課総務係)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>